

大谷中学校 入試・進路の情報

OTANI JUNIOR HIGH SCHOOL

- INDEX
- P1 志願者数・合格者数・入学者数、及び合格基準点
 - P2 【TOPIC】
 - P3 設問ごとの正答率と講評 その1 (A3:国語・算数・社会)
 - P4 設問ごとの正答率と講評 その2 (A3:理科・英語／BT:国語・算数・理社)
 - P5 谷験テストについて その1
 - P6 谷験テストについて その2、内部進学者の高校卒業時の進路状況

生徒・保護者対象説明会の日程 (2026年度入試)

2025		〔全体説明会〕	〔個別相談〕	〔食堂 コンビニ利用〕	
5 / 31 (土)	学校説明会I	○	○	○	授業公開
7 / 5 (土)	オープンキャンパスI	○	○	※コンビニ利用のみ	授業体験
8 / 23 (土)	オープンキャンパスII	○	○	※コンビニ利用のみ	生徒会企画／クラブ体験・見学
9 / 27 (土)	学校説明会II	○	○	○	授業公開
10 / 18 (土)	学校説明会III(谷験テストI)	○	○	—	谷験(KとT)／生徒会企画
11 / 1 (土)	小学5年生以下対象 オープンキャンパス	○	○	○	生徒会企画／校内見学
12 / 6 (土)	入試説明会(谷験テストII)	○	○	○	谷験(K)
2026	3 / 20 (金祝)	○	○	—	国算体験授業

※すべての説明会・オープンキャンパスでWeb申し込みが必要です。

※11/15(土)・12/13(土)にも個別相談会を行います。(予約制。事前に申し込みが必要です)

※詳細については、随時ホームページなどお知らせします。

1 日程ごとの志願者数と合格者数と入学者数

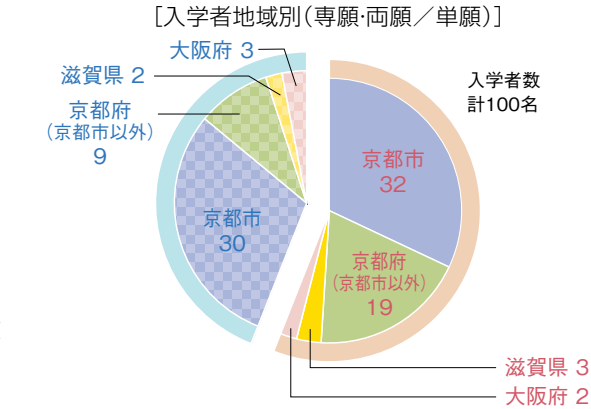
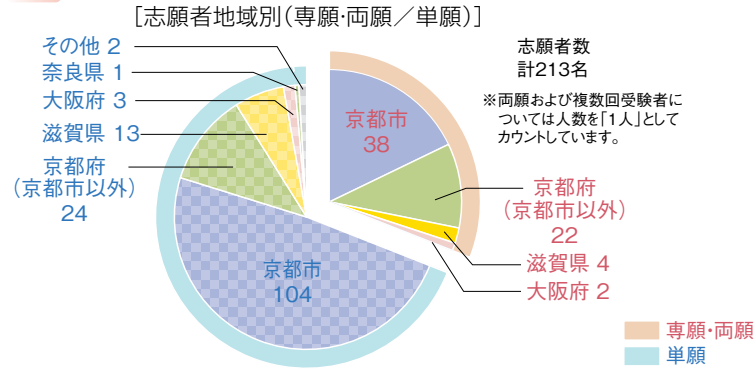
日 程		志 願 者		受 験 者		合 格 者			
						マスター Jr		コア Jr	
		男	計	男	計	男	計	男	計
女	女	女		女					
A 日程 1/18 (土)	AS	6	15	6	15	1	1	5	14
		9		9		—		9	
	A3	43	58	43	58	20	29	17	23
		15		15		9		6	
	A2	62	118	62	118	33	64	22	43
		56		56		31		21	
B 日程 1/19 (日)	B2	69	97	69	95	33	49	20	25
		28		26		16		5	
	BT	9	16	9	16	9	15	—	—
		7		7		6		—	
C 日程 1/22 (水)	C2	49	73	31	49	17	32	12	15
		24		18		15		3	
合 計		238	377	220	351	113	190	76	120
		139		131		77		44	

(志願者、受験者、合格者の数字は、延べ人数です。)

2 試験区分と科目

AS	志望理由書・活動報告書・通知表のコピー(5・6年のもの)・作文・個人面接
A3	算数・国語(各50分/各150点)+選択科目(理科・社会・英語から1～2科目) ※選択科目は各35分/各100点/2科目選択の場合はいずれか高得点を採用【計400点】
A2	算数・国語(各50分/各150点) 【計300点】
B2	算数・国語(各50分/各150点) 【計300点】
BT	算数・国語(適性検査型問題/各50分/各100点) 【計200点】 +自由選択科目 理社(適性検査型問題/50分/100点)+面接(個人)から選択 ※面接(個人)のみの選択は不可 【計300点】
C2	算数・国語(各50分/各150点)【計300点】

3 地域ごとの志願者と入学者数



4 2025年度入試合格基準点

試験区分		A3		A2		B2		BT		C2	
配点合計		400		300		300		100%		300	
両願・複数回	全額給費	320	80%	225	75%	225	75%	75%	255	85%	
	半額給費	300	75%	210	70%	210	70%	70%	240	80%	
	マスター	260	65%	180	60%	180	60%	55%	210	70%	
	コア	180	45%	120	40%	120	40%	50%	150	50%	
単願	全額給費	340	85%	240	80%	240	80%	80%	270	90%	
	半額給費	320	80%	225	75%	225	75%	75%	255	85%	
	マスター	280	70%	195	65%	195	65%	60%	225	75%	
	コア	200	50%	135	45%	135	45%	55%	165	55%	

※ BT は得点率で合格判定をおこなっています。

5 受験者平均点

		A3					A2	
配点合計		400					300	
教科	国語	算数	理科	社会	英語		国語	算数
配点	150	150	100	100	100		150	150
平均点	86.2	86.2	54.8	54.3	73.3		96.6	72.9
合計平均点	国算理 236.7/ 国算社 225.9/ 国算英 266.6						169.5	
		B2		BT ※得点率			C2	
配点合計		300		100%			300	
教科	国語	算数		国語	算数	理・社	国語	算数
配点	150	150		100	100	100	150	150
平均点	81.0	81.3		64.3	68.1	69.5	89.6	112.9
合計平均点	162.3			68.0			202.4	

TOPIC 1

2025年度入試について ※2026年度入試については、夏以降の要項で確認してください。

1 受験型について

(専願・両願・複数回・単願の定義)

受験型	対象となる試験区分	内 容	利 点
専願受験	AS	本校で学ぶことに強い意欲を持ち、合格すれば入学する意志のある方。 ※ASを受験する＝専願 ということです。	・若干優遇
両願受験	AS、A3、A2、B2	AS+A2、AS+B2、A3+A2、A3+B2の4つの受験パターン。	・両方の入試で 得点優遇 ・同時出願で受験料は1回分
複数回受験	A2、B2、BT、C2	両願以外で、2回目以降の受験。 ※1回目は単願受験となります	・2回目以降の入試で 得点優遇
単願受験	A3、A2、B2、BT、C2	それぞれの受験型で、単独での1回目の受験。	—

※両願受験の**得点優遇**は受験をして成立します。
(欠席すれば得点優遇はなくなります)

2 A3入試

- 算数+国語+選択科目(理科・社会・英語から1科目または2科目選択。2科目受験した場合、いずれか良い方の得点を判定に採用します。)
- 傾斜配点:算数150点・国語150点・選択科目100点

3 A3・A2・B2・C2の国語・算数の問題傾向と難易度

- 作問者は、この4つの入試は、傾向を変えずに同じレベルの問題となるように意識して作っています。
- 合格基準点(得点率)は、A3→A2→B2→C2の順に高く設定しています。ただし、C2を受験すると複数回受験となる受験生については、大谷熱望の受験生とみなして、合格基準点が高くないように設定しています。

4 資格による加点

以下の資格に応じて加点をして判定します。受験当日に、必ず認定証のコピーを志願票と一緒に提出してください。

- 3・4科目受験の方 20点加点:英検準2級／漢検3級／数検4級 □ 2科目受験の方 15点加点:英検準2級／漢検3級／数検4級
- 10点加点:英検3級／漢検4級／数検5級
- 8点加点:英検3級／漢検4級／数検5級
- 5点加点:英検4級／漢検5級／数検6級

認定書のコピーは、複数回受験の場合、初回受験時に提出してください。(2回目以降の受験の判定にも有効です)

※複数提出可。

5 BT入試

適性検査型国語、及び適性検査型算数は必須です。適性検査型理科・社会と面接は希望者対象です。
洛北・西京・南陽・園部高校附属中学の入試問題(適性検査型問題)を意識して作問しており、その入試問題に対する特訓をしている人向けの入試です。出題傾向としては、洛北・西京高校附属中学に近い問題を出題しています。

6 AS入試について

- コンセプト:小6までに学習以外にもスポーツや音楽などの取り組みを行っている人や自慢できることのある人向きの入試です。大学の自己推薦系の入試に強そうな人を発掘する目的もあります。
- +B2入試受験をお薦めています:ASで確実にコアJrの合格をおさえ、B2入試でマスターJrの合格を視野に入れることと、入学後に国算の受験勉強をしていないことがデメリットにならないようにすること等を狙いとしています。また、特待生を目指している人はASではなくA3を受けた方が有利です。(昨年度のAS入試受験者のうち、マスターJr合格は1名でした)
- 専願受験となります。
- 自己推薦できるもの:スポーツ・習い事・検定や資格など(賞状や新聞記事のコピー、トロフィーの写真などの添付もOK)
- 事前審査の手順

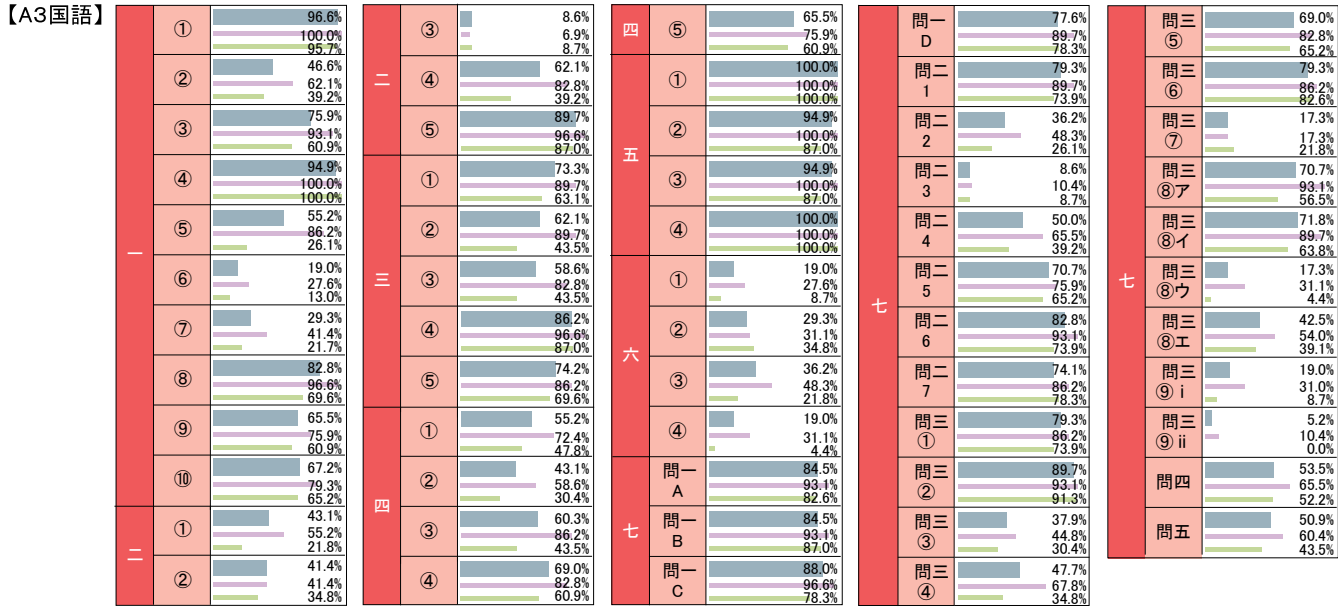
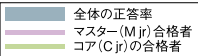
- 1 親子で**説明会に参加**し、個別相談内に設置された「ASエントリー希望面接」を受ける
(1)AS入試のコンセプトを理解する (2)**エントリー基準をクリア**している ⇒ (3)ASエントリー用紙を受け取る

小学5年の年度末と小学6年前期の通知表が、3段階の学校ではオール2以上5段階の学校ではオール3以上(ただし、私立小に通う方は応相談)

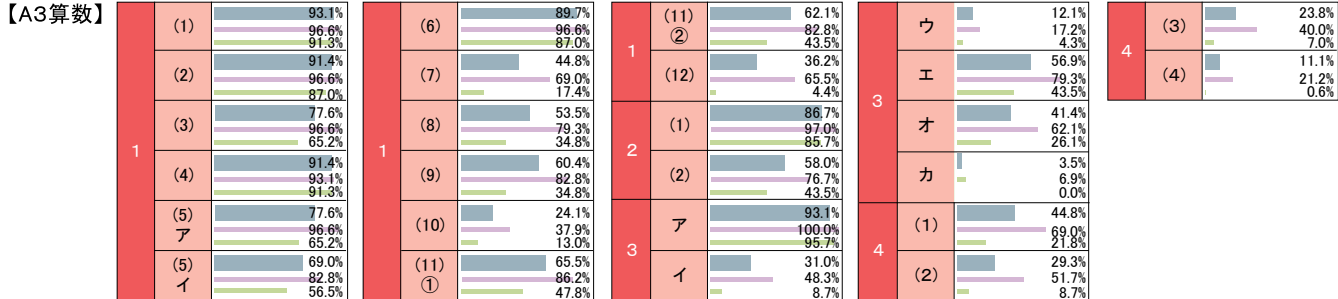
- 2 谷験テストを受験する(結果が良かった人はプラス材料に)
 - 3 書類を提出
 - 4 書類審査自己アピール日
 - 5 事前審査判定
- 2回(10月と12月)のうち、いずれか

6 設問ごとの正答率と講評

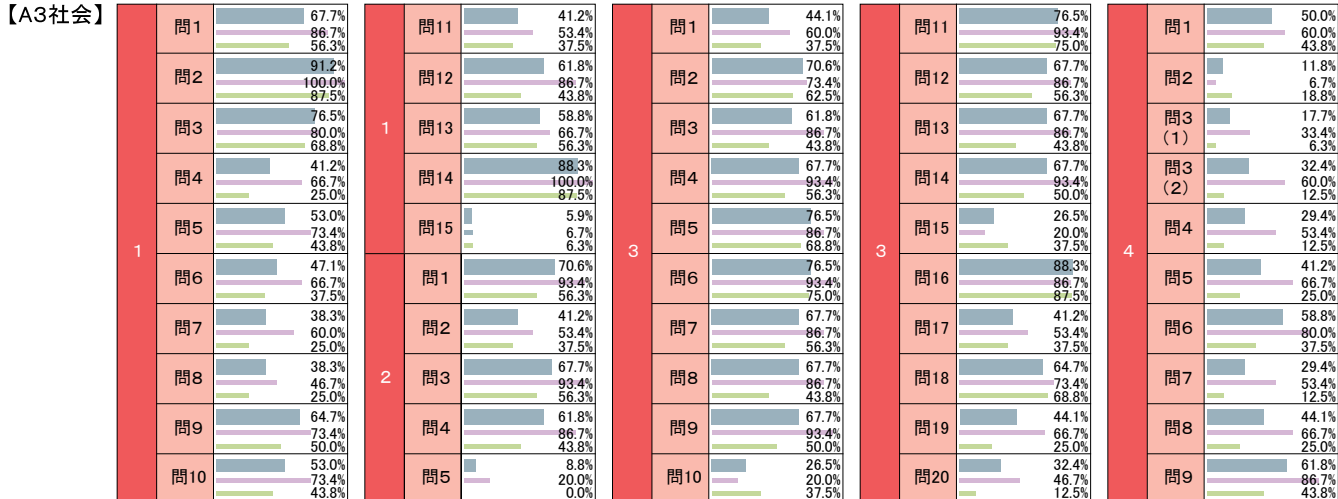
<表の見方>



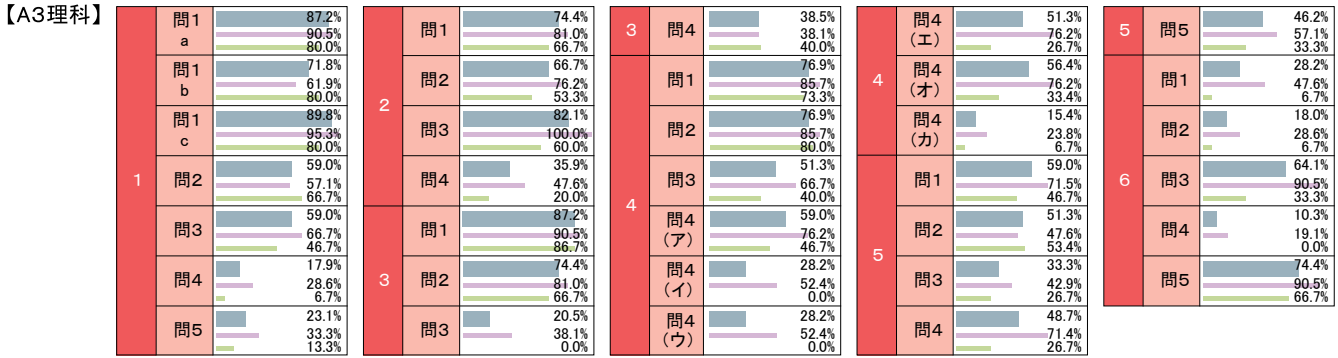
【国語】例年と同ような問題構成で出題しました。大問1は漢字の読み書きです。読みにおいては、訓読みが大切です。また、読み書きともに話し言葉ではあまり用いられないことばもしっかりできるように練習してください。大問2はボキャブラリーを問う問題です。小学生があまり用いない言葉も、読書などを通じて身につけるようにしてください。大問5は「きく」という基本的な動詞の意味を問う問題でした。この問題は、私たちの予想に反してとても良くできていたように思います。字面だけでなく、そこから具体的な意味を考える力があることは素晴らしいと思いました。大問6はバズリ的な漢字の問題です。やや難問であり正解率は高くなかったのですが、よく出題される形式でもあり、しっかり練習してもらえれば、ライバルに差がつけるのではないのでしょうか。大問7では小説を出題しました。みなさんも幼い頃を思い出し、なつかしい気持ちになったり、共感したりしてくれただけでは？ ただし、設問に臨む時は、冷静に、客観的に問題文を見つめることが大切です。登場人物の気持ちに着目し、本文中からその根拠を見つけていくようにしてください。また、採点していて残念に思ったのは、本文の写し間違いや、単純な字のまちがいが少なくなかったことです。ていねいに書き写す習慣をぜひ身につけてください。



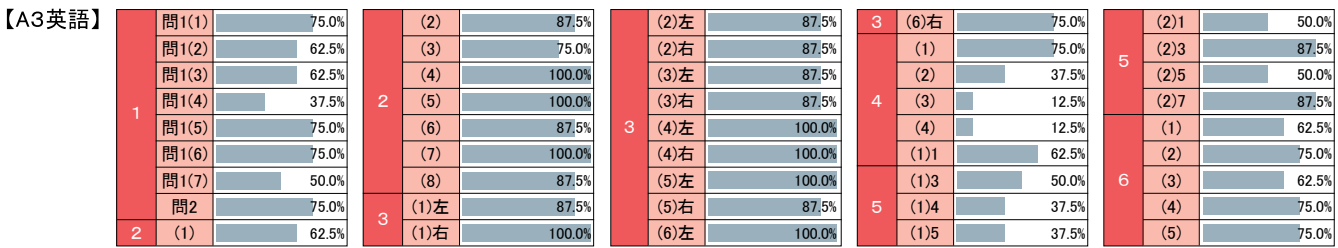
【算数】参考書にある〇〇算の基本レベルの問題の考え方を理解しながら問題を解くようにしましょう。特に、大問1の(12)の食塩水の濃度のように後半部分では〇〇算の中でも少し難しめの問題も出題しています。大問1では少なくとも8問以上正解できることを目標に頑張りましょう。大問2は、立方体から2つの半円柱をくり抜いた体積、表面積の問題です。体積では立方体から半円柱2個分の体積を引く方法や正方形から半円2個分の面積を引いて高さをかけて求める方法が考えられます。式が簡潔になる効率のよい計算を心がけましょう。また、表面積ではくり抜いた部分の面積を引くまたは半円柱の側面積を足すことを忘れてしまうことがよくありますので十分に注意してください。大問3は例年、数字の規則性や図形の規則性のどちらかで出題をしています。今回はタイルを使って図形を作る問題で(3)、(4)の正方形を作るときは公倍数を利用することで正方形の1辺の長さやタイルの枚数の規則性が見えます。どこに注目すれば規則が見つけられるのか、問題演習で経験を積みましょう。大問4は例年、〇〇算の応用問題を出題しています。今回は仕事算で3人の仕事量を整理することで解くことができます。仕事から時間の変換、時間から仕事の変換をミスなくできるようにしましょう。問題演習を通じて練習を重ねることで少しずつ解けるようになっていきますよ。



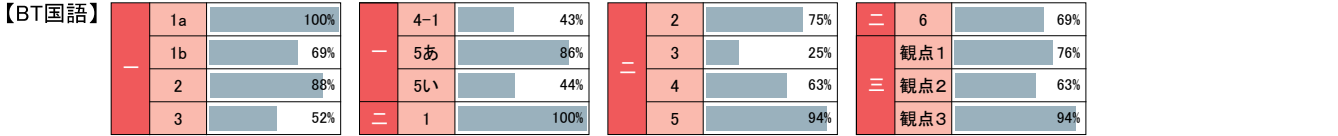
【社会】全体として、作問は「教科書レベルの事柄をきちんと理解しているか」を問うことを基本方針としています。1・2は地理分野40点、3は歴史分野40点、4は公民分野20点という大問構成でした。全体の正答率は54.3%で、分野ごとの正答率は、地理分野が約54%、歴史分野が約63%、公民分野が約38%であり、公民分野まで手が回っていない受験生が散見されました。地理分野：県庁所在地や河川の名称など、基本的な事柄はよくできていました。その一方で、1問9や1問11、2問2のように、物事を本質的に理解しているかを確認する問題で、差がつく結果となったのではないかと思います。歴史分野：人物名や主な出来事に対する問題は、正答率が高かったです。3問11の論述問題も、よくできていたのは驚きました。3問17、3問19、3問20のように、地図や資料の問題も対策しておけば、さらに得点アップできたのではないかと思います。公民分野：どうしても公民分野は勉強が追いつかないものですが、受験までに基本的な事項は一通り、学習しておく必要があります。もしかしたら問題を解くときに、地理や歴史分野に手間取って、公民分野まで到達できなかった人もいたかもしれません。過去問に取り組むときは時間をはかって、問題をよくのんびり読んでおくのが有効な対策です。4問2Ⅱは、グラフのデータから推測する必要があり、かなり難易度が高かったと思います。しかし、これからの時代は、そのような「データを読み取る力」や「推測する力」も必要とされています。日頃から「考える」ということを、楽しめるとよいですね。



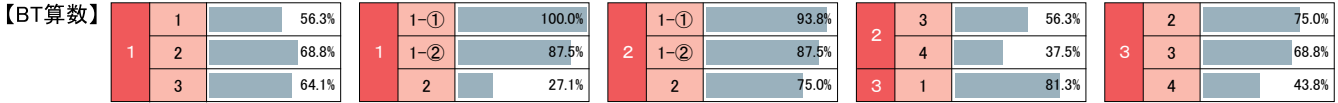
【理科】例年と同様、エネルギー（物理）・粒子（化学）・生命（生物）・地球（地学）の4分野より満遍（まんべん）なく出題しました。また、思考力・表現力・判断力等を問う問題や、自ら筋道を立てて計算式を作っていくような問題をいくつか出題しましたが、そうした工夫が必要な問題の正答率が低い結果となりました。文章をよく読んで意味を理解したうえで情報を整理する力をつけておきましょう。大問1は小問集合でした。中でも、問4・問5の生命に関する問題の正答率が低い傾向にありました。仮に補えられている植物や地中にいる小さな生き物にも興味を持って調べてみましょう。大問2は星の見え方に関する問題でした。冬の星座については多くの受験生が答えられていました。ぜひ季節ごとの星座について、夜空を見上げるなどして観察してみてください。大問3では弦をはじいたときの音の高さに関する問題を出題しました。表を見ながら法則を見出して計算をする必要があり、正答率が低かったです。与えられた条件を比較して法則を導き出す訓練を積みましょう。大問4は様々な物質の水への溶け方に関する問題でした。密度を計算する問題の正答率が低かったです。基本的な問題ですので、しっかりと向き合えましょう。問4の(力)は文章の流れからルールを見つけ、答えを導き出す問題でした。難しい問題で正答率は低かったのですが、答えられた方もいました。このような力が中学校への入学後も必要だと考えます。大問5は地層の図からさきさなことを読み取る問題でした。すべて記号問題であるということもあり、大きく正答率の低い問題はありませんでしたが、大問としての正答率は低かったです。終盤の問題ということもあり、時間がなかったのかもしれません。限られた時間ですが、文章をよく読んで意味を理解し、答えを導き出せるようにしましょう。大問6は植物の水の吸収量に関する問題でした。計算に工夫が必要で、与えられた情報を整理する必要があり時間も要したためか、正答率が低くなりました。情報処理、論理的思考、文章の意味の読み取り、あらゆる力が総合的に求められる応用問題でしたので何度も取り組むことでぜひそれらの力を育成していくてください。



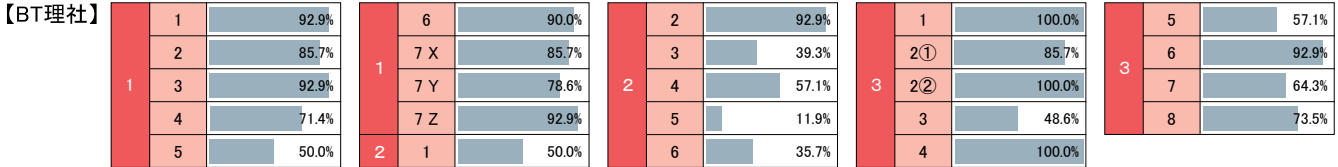
【英語】昨年度と同様の問題形式であったので、受験生にとっても取り組みやすい問題だったようです。読解力と文法力がバランスよく求められる問題でした。第1問：英文のeメールを読み、話の流れと内容について答える問題でした。2つのeメールの内容を理解して、読み進めることが求められます。第2問：標準的な対話文を完成させる問題です。第3問：イラストを見て、動詞や名詞を答える問題です。第4問：文法的知識を問う空所補充問題です。全体的に低い正答率になりました。第5問：昨年度の形を踏襲した4コマ漫画の話を完成させる問題です。話の流れを理解することが求められます。(1)が少し難しくなったようです。第6問：語句整序問題です。



【国語】記述で答える問題をメインとしたテストです。20字程度から、400字を超えるものまで出題されています。自分で何を表現すればよいか考える力と、それを相手に伝えるための力が必要です。大問1は、狩猟から農耕への生活スタイルの変化について説明した文章でした。それぞれの生活スタイルのポイントや、気候との関連を読み取る必要があります。大問2は、ウィルスの流行を足がかりに、ポジティブに評価されるポダレス化ですが、逆にネガティブなものとして捉えられることにもなることが語られていました。記述問題でも、そのことに関連した問いが出題されましたが、主観的的確に表現することがあまりできていなかったように感じました。文章において、主題、目的語、述語などは、骨格となります。そこを明確に記述していくことを心がけてください。大問3は400字程度の作文です。具体的な内容から、「そこから学んだこと」という抽象的なところまで深めていくことが大切です。とらえが、ただ経験してきたことの冗長な羅列に終わってしまっている答案が多く、意欲的に書いていただけに、残念に感じました。記述力を身につけるためには、記述する練習も大切ですが、読むこと、物語を知っていく姿勢がとても重要です。自分の中に知識や教養を蓄えることで、アウトプットは自然とできるようになるはずです。がんばってくださいね。



【算数】この入試では、問題を解くために必要な情報を長い文章や会話文の中から読み取り、早く正確に解く力が求められています。大問1はジュースの空きびんについての問題です。空きびん4本で新しいジュース1本と交換という条件から会話文にしがってそれぞれの本数を求めればよいでしょう。また、(3)の問題については式や考え方を書く問題となっています。(1)、(2)での解法とは異なり、交換したジュースを2日目以降の4本目に置き換えることに注目しましょう。大問2は得点に関する問題です。採点方法の①～④のルールに沿って選手の得点を求めていきましょう。(2)は審判Fの点数が最低点のとき、最高点のときで考える2つの値は求められます。審判Fが最低点や最高点でないときは審判B・C・E・Fの4人の合計と審判6人の合計の比について考えるようになります。大問3は図形の問題です。側面のおうぎ形の弧の長さや底面の円の円周が等しいことから(1)の②や(2)が求められます。また、(2)の別解として(底面の円の半径)÷(母線の長さに360度をかけて)で簡単に求めることもできます。大問4はハノイの塔の問題です。1～4のルールに沿って大きな異なる円板を動かしていきます。前半の会話文を読み、円板が3枚のときの移動回数を求めていきましょう。(2)以降では、後半の会話文から円板の枚数と移動回数についての規則や関係をとらえることで、円板の枚数が増えることも求められるようになります。



大問が3題設定されており、第1問が社会、第2問が理科、第3問が社会・理科の複合問題でした。分野ごとに見ると、まず地理分野では、基本語句を答える問題は、1問のみでした。例年と同様、各都道府県のデータ（今回であれば、製造品出荷額の内部と農産物出荷額の内部）を頭に入れておくことや、複数の資料から、情報を正確に読み取り問題を解きました。歴史分野では、基本語句を答える問題は、1問のみでした。出来事の起きた順番やその内容を正確に理解していくことが必要です。今年は、公民分野から1問出題しました。「税」や「公債（地方債）」、「地方交付税」がどのような役割をもっているか理解し、その上でグラフから情報を読み取って適切な論述をするという、思考力を必要とする、難易度の高い問題でした。理科では物理・化学・生物・地学がそれぞれに出題され、特に物理は様々な実験結果を整理し、考察する問題が難しくなっています。特に記述問題での説明文や実験結果が乗っている表を読み解いて、説明する問題は受験生には難問であったと思いますが、丁寧な解答が多くみられました。問題文に問われていることを理解し、的確に文章にできれば、より得点が取れたと思います。

7 谷験テストの得点分布とB判定（合格圏内）のボーダー／教科ごとの得点分布と平均点

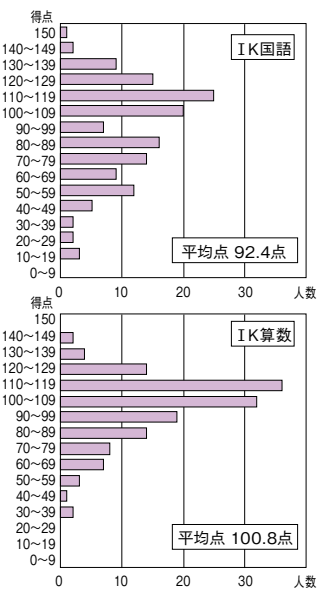
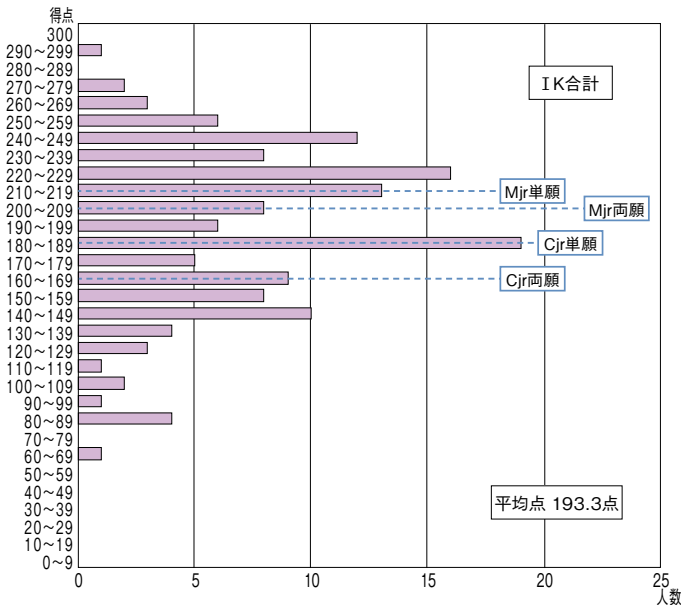
2024.10.26実施 谷験Ⅰ	
Kタイプ 算・国	
50分 150点×2科	
受験者142名	

谷験の得点率と評価

IK	M単願	M両・複	C単願	C両・複
A ☆	250 ～	235 ～		
A ◇	235 ～	225 ～		
A	225 ～	215 ～	205 ～	185 ～
B	215 ～	205 ～	185 ～	165 ～
C	205 ～	185 ～	165 ～	130 ～
D	185 ～	165 ～	130 ～	100 ～
E	165 ～	130 ～	100 ～	80 ～
F	～ 164	～ 129	～ 99	～ 79

※ A ☆は全額給費、
A ◇は半額給費です。

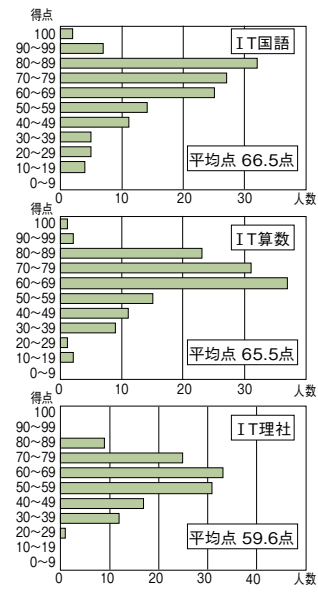
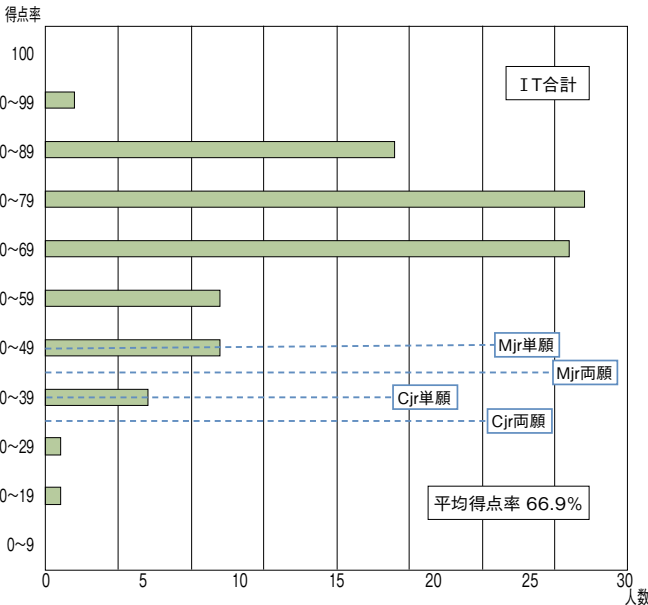
※下の各グラフ内の-----線は各試験区分における谷験テストのB判定の基準点です。



2024.10.26実施 谷験Ⅰ	
Tタイプ 適性検査型 国語・算数・理社	
50分 100点×3科	
受験者132名	

谷験の得点率と評価

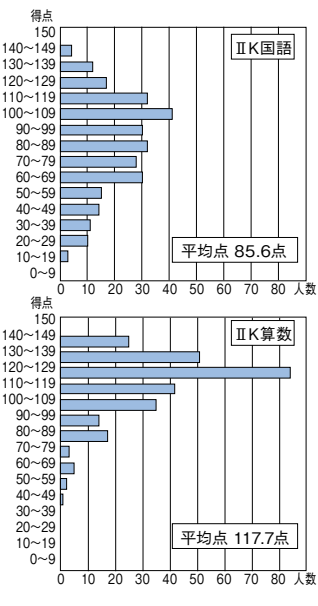
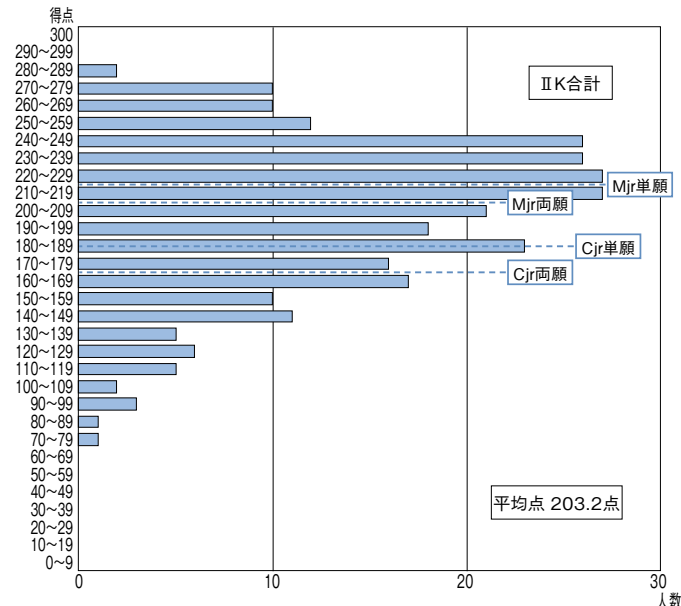
IT	M単願	M両・複	C単願	C両・複
A ☆	68 ～	63 ～		
A ◇	63 ～	55 ～		
A	55 ～	45 ～	40 ～	35 ～
B	45 ～	40 ～	35 ～	30 ～
C	40 ～	35 ～	30 ～	25 ～
D	35 ～	30 ～	25 ～	20 ～
E	30 ～	25 ～	20 ～	15 ～
F	30 未満	25 未満	20 未満	15 未満



2024.12.07実施 谷験Ⅱ	
Kタイプ 国・算	
50分 150点×2科	
受験者279名	

谷験の得点率と評価

IK	M単願	M両・複	C単願	C両・複
A ☆	255 ～	240 ～		
A ◇	240 ～	230 ～		
A	230 ～	220 ～	210 ～	185 ～
B	220 ～	210 ～	185 ～	170 ～
C	210 ～	185 ～	170 ～	140 ～
D	185 ～	170 ～	140 ～	110 ～
E	170 ～	140 ～	110 ～	90 ～
F	～ 169	～ 139	～ 109	～ 89



8 谷験受験者数

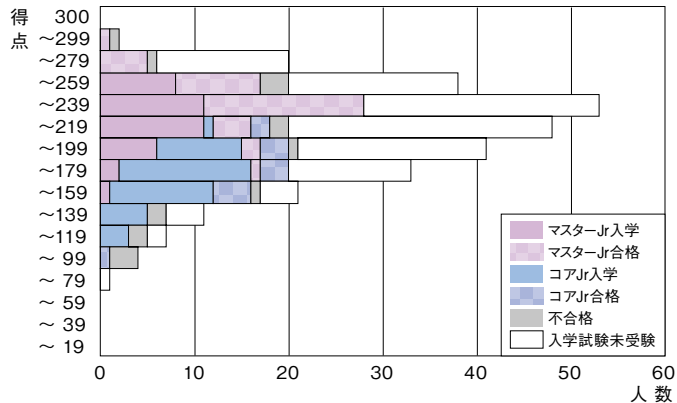
		2024	2023	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016
谷験Ⅰ	Kタイプ	142	165	205	121	171	176	167	163	157
	Tタイプ	132	131	152	128	119	112	101	53	64
	計	274	296	327	249	290	288	268	216	221
谷験Ⅱ		279	300	301	300	245	261	243	210	268
合計		553	596	628	549	535	549	511	426	489

※欠席者は除いています。

9 谷験テストの判定と入学試験の判定状況

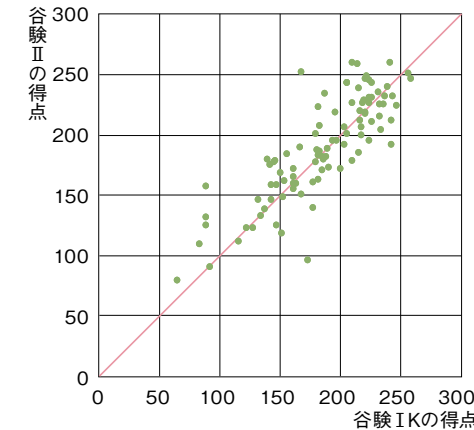
入学試験の判定		谷験判定ごとの入試合格率			
		A	B	C	D
マスター Jr	単願	100%	100%	100%	31%
	専願・両願	100%	100%	70%	14%
コア Jr	単願	100%	100%	88%	67%
	専願・両願	100%	93%	78%	44%

10 谷験テストⅡ（2024年12月）受験者の入学試験受験状況

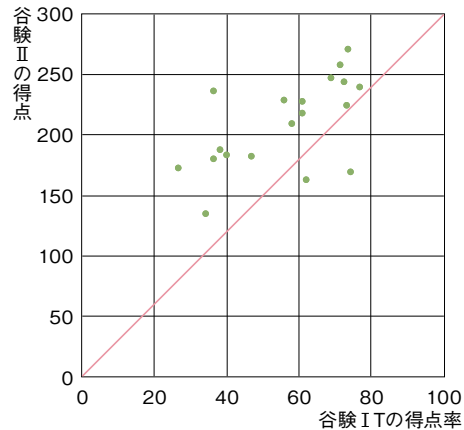


11 谷験ⅠとⅡの両方を受験した児童の状況

谷験IKとⅡKの両方受験



谷験ITとⅡKの両方受験



※谷験ⅠとⅡの両方受験した児童についてまとめています。
※直線は谷験ⅠおよびⅡの同じ得点を結んだものです。

12 大谷中学出身生（78名）の高校卒業時の進路

公立はこだて未来大学 / システム情報科学部	大谷大学 / 社会学部	龍谷大学 / 先端理工学部	近畿大学 / 法学部
名古屋大学 / 文学部	大谷大学 / 社会学部	龍谷大学 / 先端理工学部	摂南大学 / 現代社会学部
滋賀医科大学 / 医学部（看）	大谷大学 / 文学部	龍谷大学 / 政策学部	関西外国語大学 / 外国語学部
滋賀大学 / 経済学部	同志社大学 / 商学部	佛教大学 / 保健医療技術学部	藍野大学 / 医療保健学部
滋賀大学 / データサイエンス学部	同志社大学 / 文学部	佛教大学 / 仏教学部	畿央大学 / 健康科学部
滋賀県立大学 / 人間看護学部	同志社大学 / 文学部	佛教大学 / 仏教学部	追手門学院大学 / 経営学部
京都大学 / 経済学部	同志社大学 / 理工学部	佛教大学 / 文学部	追手門学院大学 / 経済学部
京都大学 / 工学部	立命館大学 / 政策科学部	佛教大学 / 歴史学部	大阪工業大学 / ロボティクス&デザイン工学部
京都工芸繊維大学 / 工芸科学部	立命館大学 / 法学部	京都精華大学 / メディア表現学部	大阪電気通信大学 / 工学部
京都府立大学 / 農食科学部	立命館大学 / 法学部	京都精華大学 / マンガ学部	大阪電気通信大学 / 工学部
大阪公立大学 / 看護学部	同志社女子大学 / 文学部	京都文教大学 / 総合社会学部	関西学院大学 / 文学部
奈良女子大学 / 理学部	京都薬科大学 / 薬学部	平安女学院大学 / 国際観光学部	大阪国際大学短期大学部 / 栄養学科
下関市立大学 / 経済学部	京都産業大学 / 外国語学部	関西大学 / 商学部	産業技術短期大学 / 情報処理工学科
早稲田大学 / 文化構想学部	京都産業大学 / 経営学部	近畿大学 / 経済学部	京都建築大学校 / 建築学科
国際基督教大学 / 教養学部	京都産業大学 / 経営学部	近畿大学 / 建築学部	大阪航空専門学校 / エアポート学科
上智大学 / 総合グローバル学部	京都産業大学 / 現代社会学部	近畿大学 / 生物理工学部	東洋医療専門学校 / 鍼灸師学科
工学院大学 / 先進工学部	京都産業大学 / 法学部	近畿大学 / 総合社会学部	進学準備 / 5名
成安造形大学 / 芸術学部	龍谷大学 / 社会学部	近畿大学 / 農学部	
大谷大学 / 社会学部	龍谷大学 / 先端理工学部	近畿大学 / 文芸学部	計 78 名